

宮城県考古学会連絡紙

第76号

令和元年(2019)6月29日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

令和元年度 宮城県考古学会総会・研究発表会報告

5月11日(土)に、東北学院大学ホーイ記念館において、以下の日程で開催しました。会当日は、会員約85名の参加があり、会員外参加者を含め約150名の来場者がありました。

【総会】10:00~10:50

佐々木和博会長から開会の挨拶があり、つづいて議長団の選出により7件の議事が行われました。

議案第1号 2018年度の事業報告について

議案第2号 2018年度収支決算報告

議案第3号 細則の一部改正(案)について

議案第4号 東日本大震災復興調査成果の活用に関する委員会設立準備について

議案第5号 『大地からの伝言』の増刷について

議案第6号 2019年度の事業計画(案)について

議案第7号 2019年度収支予算(案)

以上各議案について幹事長および総務幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から第7号まで承認されました。

その他として桑原滋郎氏、進藤秋輝氏、佐藤信行氏に顧問を委嘱したことを報告いたしました。また、会員より部会活動について多くの会員に広報すべきとの意見がありました。

本総会で議案第4号「東日本大震災復興調査成果の活用に関する委員会設立準備について」が可決されました。これを受けて、今年度は「東日本大震災復興調査成果活用実行委員会」を立ち上げる準備期間としました。本委員会への立候補希望者は、10月末日までに総務幹事までお申し出下さい。

【研究発表会】11:00~17:00

研究発表1件、基調講演1件、報告4件、研究報告3件の口頭発表があり、その後、意見交換をおこないました。

○口頭発表(研究発表)

「9世紀後半の須恵器坏における技術変化-「コテ状工具」に関する実験的研究-」東北大学大学院 館内魁生氏

○特集『東北南部の中期古墳を考える』

特集趣旨説明

基調講演「福島県喜多方市灰塚山古墳の発掘調査成果」

東北学院大学 辻 秀人氏

報告「灰塚山古墳出土堅櫛の意味」

仙台市教育委員会 相川ひとみ氏

報告「灰塚山古墳出土分離式神獣鏡について」

名取市教育委員会 鈴木舞香氏

報告「灰塚山古墳棺外副葬について」

東北学院大学大学院 横山 舞氏

報告「灰塚山古墳出土箱式石棺の構造」

東北学院大学大学院 高橋侘奈氏

研究報告「東北の中期古墳の埋葬施設と副葬品」

福島大学 菊地芳朗氏

研究報告「東北地方中期古墳の特質」

東北大学総合学術博物館 藤澤 敦氏

研究報告「東北地方古墳出土人骨の特徴」

新潟医療福祉大学 奈良貴史氏

(閉会行事)

まず、東北大学大学院の館内氏による研究成果発表がありました。

特集では東北学院大学辻ゼミナールが実施した福島県喜多方市灰塚山古墳の発掘調査について、成果発表と東北地方南部の中期古墳の埋葬施設と副葬品や社会の状況、東北地方南部の古墳出土の人骨等についての研究報告をいただきました。報告後、意見交換会が行われ、東北地方南部の中期古墳についての調査成果と今後の課題について共有されました。

最後に、佐久間光平副会長から閉会の挨拶がありました。

今回の開催に際しては、灰塚山古墳発掘調査における出土資料の展示も開催しました。豊富な鉄製品や堅櫛など、貴重な出土資料は、参加者の注目するところとなりました。

なお、本会開催にあたっては、1ヶ月前からホームページ、連絡紙、新聞での周知に努めましたが、アンケートでは「会員外、一般向けにさらに広くPRしたほうがよい」とのご意見もいただきました。

【懇親・交流会】18:30~20:00

本会閉会後に懇親会を行い、和やかな雰囲気の中、意見交換・情報交流を図ることができ盛会でした(32名参加)。

研究部会活動報告・予告

【旧石器部会(宮城旧石器研究会)第36回例会】

平成31年4月13日(土)、加美町葉菜山麓遺跡群に関連する石材調査として、黒曜石産出地として知られる加美町「湯の倉」周辺の河川流域の踏査を行いました。参加者は11名。河岸では葉菜山麓遺跡群に用いられる珪質凝灰岩や黒曜石などの石材の分布を確認することができました。

【中近世部会 遺物見学会】

令和元年6月15日(土)、白石市資料整理室において、12～13世紀代の大古町遺跡出土資料の見学会を実施しました。7名の部会員が参加し、白石市の小川氏、石本氏から説明をいただきながら、土師質土器・かわらけ・貿易陶磁器・国産陶器等の貴重な資料を詳細に観察し意見交換を行いました。

【阿武隈川水系研究会 遺物見学会】

令和元年6月29日(土)、吾妻海道の伝承が残る蔵王町向山籠石周辺の現地踏査を予定。

※最新の情報は本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)にてご確認ください。

県内発掘調査情報

令和元年度上半期に調査された宮城県内各地の遺跡発掘情報について紹介します(6月末時点での状況)。

○作田山館跡(山元町)

がけ崩れ対策工事に伴う中世城館跡の調査。調査終了。

○長内遺跡(丸森町)

宅地造成に伴う古墳前期の竪穴建物跡調査。調査終了。

○赤井遺跡(東松島市)

東辺部の確認調査で、材木堀跡2条発見。調査終了。

○大久保貝塚(南三陸町)

堤防建設に係わる縄文晩期の貝塚の調査。調査終了。

○桧木沢遺跡ほか(七ヶ宿町)

圃場整備事業に係わる確認調査。縄文時代中期～後期の包含層、竪穴建物等を発見。調査終了。

○清水遺跡(柴田町)

圃場整備に伴う調査。古代～近世の遺構・遺物。調査終了

○入の沢遺跡(栗原市)

史跡範囲確認調査、大溝・材木堀跡を確認。調査終了

○源光遺跡(栗原市)

県道改良に伴う調査。古代～中世の遺構を確認。調査終了

○小屋館跡(気仙沼市)

三陸沿岸道路建設に伴う中世城館跡の調査。調査終了。

○南北原遺跡(加美町)

町道改良に伴う調査。古代の竪穴建物群を調査中。

○山王遺跡(多賀城市)

圃場整備等に伴う継続調査。東西大路南側で建物跡、井戸跡等の複数の遺構を検出中。

○多賀城跡92次調査(多賀城市)

多賀城跡外郭北西隅を調査中。秋頃に現地説明会を予定。

博物館等イベント情報

【東北学院大学付属博物館】

◆開館10周年記念特別展「開・首長の棺」

一福島県喜多方市 灰塚山古墳の調査成果一

会期:6月8日(土)～7月20日(土) 観覧料:200円

【多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室】

◆発掘された遺跡一速報展 平成30年度の調査成果一

会期:6月1日(土)～7月28日(日) 観覧料無料

【仙台市縄文の森広場】

◆コーナー展示「東北地方の縄文遺跡①」

会期:7月13日(土)～10月20日(日) 観覧料必要

【栗原市一迫埋蔵文化財調査センター】

◆令和元年度くりはら遺跡発掘一平成30年度発掘調査展一

会期:7月23日(火)～9月1日(日)

観覧料:大人200円、子ども100円

【仙台市博物館】

◆企画展「戦国の伊達氏一植宗から政宗へ一」

会期:7月12日(金)～9月1日(日)

観覧料:一般大学生460円、高校生230円、小中学生110円

【東北歴史博物館】

◆開館20周年記念特別展「蝦夷一古代エミシと律令国家一」

会期:9月21日(土)～11月24日(日)

観覧料:一般1200円、シルバー1100円、小中高高校生600円

宮城県考古学会からのお知らせ

【出前授業・講座】一考古学からみた過去の災害一

宮城県考古学会では、東日本大震災を契機とし、過去の自然災害に関する考古学的な研究成果を取りまとめた冊子『大地からの伝言一宮城の災害考古学一』を刊行しました。当学会では、防災教育の一環として、この冊子を活用した出前授業・講座を行なっています。ご利用は無料です。総合学習や地域学習等でご利用頂けます。

詳細は本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)をご確認ください。

【令和元年度宮城県遺跡調査成果発表会】

日時 令和元年12月14日(予定)

会場 未定 詳細は次号でお知らせいたします。

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

【情報・通信等募集】

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、お寄せいただいた情報を随時掲載しております。

<連絡先> 古川 一明 (連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net (宮城県考古学会)